

都市像	基本戦略	戦略分野	ありたい姿	第1期(R6~R8)中期戦略 施策
多彩な暮らし、叶えるまち。	A 未来共育	1 パートナーシップ・子育て	一人ひとりや家族の多様性についての理解のもと、家庭環境によらず子どもと家族が応援され、安心して暮らせるまち	1-1 子どもを持ちたいときや乳幼児期に必要なことを知り、発育・発達の支援を受けられる
				1-2 家族の形を知る機会や 出会う機会 がある
				1-3 子育て家庭が地域で支えられ、育児などの支援をいつでも受けられる
				1-4 ライフスタイルに合う預け先があることで、家庭で子どもと過ごす時間がより充実できる
				1-5 子ども・家庭へのきめ細やかな相談・支援がある
		2 学校教育・学びの環境	子どもたちがワクワクする学びを自ら発見できるとともに、友人や関わる人たちと共感でき、「塩尻に帰ってきたい」と思う体験ができるまち	2-1 「考える」「対話する」「共感する」「触れる」「活用する」体験を通して深い学びができる
				2-2 企業との連携による働くと学びの接続や、保護者、学校外での連携による地域全体の協力がある
				2-3 心身の成長を支える安全安心な学校環境がある
				2-4 学校外でも遊び、学び、生活の場などの「居場所」がある
	2-5 きめ細やかな支援による平等な学習機会が提供される			
	3 伝統・文化芸術・スポーツ・生涯学習	一人ひとりが日常を離れ好きな活動で自身と次世代の笑顔あふれる豊かな生活をつくり、このことが新たなつながりを生んでいるまち	3-1 行事や文化活動で、新たな発見や刺激が得られる機会がある	
			3-2 文化芸術に触れ、活動する機会がある	
			3-3 本をはじめ新たな情報・知識に触れ、探索・体験する機会がある	
			3-4 スポーツ・運動に触れ、参加する・見る・支える場所・機会が広がる	
			3-5 文化財などが知られ、保存されるとともに、他分野と横断的につながり、相互に知る機会が得られる	
	B 共創循環	4 地域経済・産業・観光・就労	塩尻に魅力と価値を見出す人たちがつながり、喜びと誇りを持ちながら働き、多様で付加価値の高い事業・商品・サービスを支えているまち	4-1 「働く」を通じて繋がりができ、学び、成長・チャレンジする機会がある
				4-2 生産・経営基盤に見通しを立てて農業に取り組める
				4-3 経営・設備投資・ 事業用地 について相談でき、資金・資本確保につながる
				4-4 多様な活動や施設、事業所が集積した駅周辺の商業地域を拠点に、新しいサービスや人の集まりや流れが増える
				4-5 体験・価値が発信され、交流人口とのコミュニケーションが増える
				4-6 塩尻ワイン、木曾漆器などの特徴や魅力の共通認識が出来ている
		5 環境・気候	生活や経済活動で、エネルギーをはじめ調達可能な資源が活用されて生活の充実や楽しみになっているまち	5-1 農地や農村環境の維持に関わる人が確保される
				5-2 森林整備と管理が進み、緑の景観や自然公園が維持されている
				5-3 脱炭素社会を実現する必要性が共有され、再生可能エネルギーの導入が広がり、研究がはじまる
	6 協働参画・連携・行政運営	市民と行政がともに「自分事」ではじめる取組が、多様な人材や組織を引きつけ、共創が加速しているまち	6-1 地域を良くする活動に取り組む人や組織に情報や資源や仲間が集まってくる	
			6-2 市の暮らしやすさや最新情報を入手・共有でき、共感を広げる様々な経路が機能している	
			6-3 デジタルを効果的に活用した確かな行政運営で、自ら感じ課題に取り組んでいる	
6-4 塩尻へ関心を寄せる市外の人材や組織との接点が増えている				
C 安心共生	7 地域社会・支え合い	ゆるやかなつながりと、感謝が循環する「お互い様文化」で、暮らしを支え合い、困りごとの解決に寄り添えるまち	7-1 身近な生活の中で、異なる世代や 背景・価値観を持つ人たちが 知り合う機会がある	
			7-2 相談窓口や相談先・つなぐ先が共有され、困っている人へ届く	
			7-3 共通する「困りごと」が共有され、「無理なく協力できる」人や団体とつながる	
			7-4 話し合いの場ができることで、活動に参加・協力する人が増える	
	8 医療・介護・保健・福祉	一人ひとりが健康や老い、障がいなどそれぞれの特性と向き合いながら、自らの健康を守ることや周りに対してできることを考えた活動によって、日常生活を自立して送ることができるまち	8-1 健康や体力を維持するための知識を得て運動をはじめめる機会がある	
			8-2 健康診断や感染症予防を行う人が増える	
			8-3 介護・福祉・医療を担う人材や組織が安定し、サービスの選択肢がある	
			8-4 自分らしい過ごし方や悩みを相談できる先がある	
			8-5 障がいについての知識や関わりが増える	
	9 まちづくり・インフラ・防災	安定した都市インフラの上で、まちで活動したくなる仕掛けが充実するとともに、災害等から生活を守り、いち早く日常を取り戻す備えができていくまち	9-1 新技術を活用して持続可能な地域公共交通が構築され、効率的で利便性が高い	
			9-2 空き家・空き地の有効活用等、住宅や住宅地の確保が 計画 されている	
			9-3 道路・橋梁・公園等が計画的に整備や維持・更新される	
			9-4 上下水道施設が計画的に整備や維持・更新される	
			9-5 災害等に備えるインフラ・施設・情報が整い、災害発生時の行動を理解されている	